懸賞小説

次號の以良都女にてかねて募つた全國淑女君子の小説の中から優等一部を抜き、それを掲げます

次號を見落すのははなはだ殘念です

いらつめ第六十七號目次（明治廿三年八月二十日）

●雜　纂……花と貯ふる法＝小兒取扱時間の數
○女子の政談……………むづかしや
○催眠術の話……………はの
○飯の腐敗せる原因及其防ぎ方＝惡人と善人
○化粧必用香醋製法
タラゴン香醋＝コロン香醋＝芙蓉香醋
○懸賞文藝應募得点表＝コレラ誘因
○西洋菓子製造法（二）……うめ子
●通信紹介……セレクトボエムチンバールヅ＝リツトン著小説＝スコット著小説＝朝野新聞論文切拔＝十二三の學婢
●新刊雜誌……黄薇餘芳＝東洋奇術新報
●通信問答……言文一致略論＝言文一致体を推し擴める範圍＝言文一致の主意＝言文一致の男女用文＝ハンドコロン切符＝ハンドコロン効能＝日本授産館の白色法＝硼砂と硼酸＝アセモ療法＝ワキガ療法＝硼西洋紙に附いた石油を落す＝三昧の語義＝獺魚を祭る＝椒椒＝コレラとカンプルチンキ＝ヴアイオリンと猫背＝英國男子の握手法＝インキ色の名刺＝アフタヌーンテイパーテイ禮式＝高尾山＝狂句＝ホーマーミルトン＝犬の蚤を去る法＝殘夢＝結語＝目れ凹んだの＝記憶力＝夜更まで讀書して疲れる

社告及び社則　いらつめ一部並製金二錢五厘郵税共金三錢、十二部金二拾九錢郵税共金三拾五錢、二十四部金五拾七錢郵税共金六拾九錢、三十六部金八拾四錢郵税共金壹圓〇二錢、四十八部金壹圓二拾四錢〇別製一部金三錢五厘郵税共金四錢、二十部金六拾五錢郵税共金七拾五錢、五十部金壹圓六拾五錢郵税共金壹圓九拾錢〇並別兩製共前金領収の上で無くては差上げぬ事〇府内に限り無郵税〇毎月二回（五日及二十日）發兌〇金子御差し送りの手續きハ郵便小爲替なれば拂渡郵便局を神田郵便局と記し受取人欄内に（神田平永町九番地成美社）と御記入の事〇郵券代用は郵便爲替の無い處に限り五厘切手で一割増しなれば妨げ無い事〇見本は五厘切手で並製五錢別製七錢領収の上差し上ます〇廣告料一行金八錢、割引無し

本号には花を貯ふる法　小兒取扱時間　女子れ政談●催眠術　西洋菓子製造法

飯の腐敗を防ぐ法　化粧必要香醋製法　通信紹介

言文一致よついて　ハンド　コロンの事一切●アセモワキガ療法

三昧の語●英國男子の握手法●午後茶會の禮式　他種々

花を貯ふる法

花を久しく貯へるよハ川水の一番宜しく、井水や鹹き水ハ甚だ悪いです。　又花を貯へる水よ雨水も用ゐます。　梅雨の時雨水と壺よ入れ、煤土を一つかミ火で燒て其水に入れれバ水の腐ることもなく、そしてそれのミならず茶を烹るにもよいと古人も申しました。　天水を用るよは雨露草木を惠むの意をとると甁史餠花譜よも見えてゐます。　甁花ハ毎朝其水を換へなければなりません。若し兩三日換へなければ花ハ早く零落します。　夏などは殊に水の腐ッて悪いです。

花生に銅鐵の類を用ゐれバ金氣の出て、花の早く損します。またる竹も水の早く腐ッていけません。　只磁器バかりハ此患ひのなく至極適當で。　寒中よ水に硫黄を入れゝバ凍ることのありません。

甁花ハ冬は南窓の下暖かな所に置き、夜ハ常に風のない處よ出して露を受けさせなければなりません。　烟りのあたる所に置いたり或ハ密室に閉ぢ籠めて、風露に氣をうけさせなければ花の早く萎れます。　すべて花を切ッて其まゝ細口の花生よ插し入れ、堅く其口を塞ぎ、其氣を泄らさぬやうなすれバ數日經ッても萎まぬと申します。　また毎日水を換へるたびに花の本を少しづゝ切ッて生けれバ久しく保ッてよく水を上げるものです。　また水を上げ難い花ハ沸湯に生ければよく水を上げて萎れません。

秋海棠ハ竹筒に生ければ萎み易く、磁器の花生のよろしいです。　夏秋の花ハ水の熱くッて腐り易いゆゑ磁器でなければ保ち難いです。

牡丹は折口を燈で燃し、蜜を水に入れて生ければ花の久しく萎みません。

梅ハ折口を火で燒て、泥よ浸せバ花の久しく萎ます、　蕾の皆開きます。

芍藥、葵の類其外本を火で燒て花の久しく萎まないもの多く、すべて草花ハ夜ハ大きい甕に花蕚まで生けて置き、小甁に移せバ花が久しく耐へます。

菊ハ沸湯に生けなければ水を上げ悪くゝ、又折口をたゝきひしいて生ければよく水を上げるものです。

戎葵、金鳳花、芙蓉も沸湯がよろしいです。

蓮は切ッた處をそのまゝ髮の毛でまき、泥よ浸し（切口をふさぐ室の穴へ其池の水と入れるのもよいと云ひます）花生

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

の底にとくと付く様にさし入れて後ち池水を入れて生けれバ花が久しく萎ます、莟も皆開きます。　又折口の孔へ杉の木を細くけづりさし込み生けれバよく水を揚げて、久しく耐へるともまうします。

海棠ハ其切口と薄荷の嫩葉で包ミ生けれバ花が萎れず、久しく保ちます。

藤の花ハ温酒で生けれバ花が萎れません。

凡て花とつねにとりあつかふ者ハそれ〴〵に生けて、潤まずよく水をあげて保つべきことを自然に辨まへわかります。又草ハすべて水をあげやすく、木ハ水をあげ悪いものが多いです。

小兒取扱時間の數

小兒を教育するに當り、どれだけの時間學問をさせ、どれだけの時間休息をさせていふのそれが頗る教育世界の問題に爲ッて居ます。　實に此事甚だ考へを要すべきことで、母親たるもの〻注意最も肝要です。　之につき泰西でもふりいどりんどる氏が其割合の適宜を考究して左の通りに定めました。　便利のため左の符号によッて之を説明します、

即ち（イ）ハ睡眠時間、（ロ）ハ休息時間、（ハ）ハ体育並遊戯時間、（ニ）ハ精神的課業時間即ち修身習練の類の符号です。

七歳……（イ）ハ九時間乃至十時間。（ロ）ハ四時間。（ハ）ハ十時間。（ニ）ハ一時間。

八歳……（イ）ハ九時間。（ロ）ハ四時間。（ハ）ハ九時間。（ニ）ハ二時間。

九歳……（イ）九（時間）。（ロ）四。（ハ）八。（ニ）三。

十歳……（イ）八乃至九（時間）。（ロ）四。（ハ）八。（ニ）四。

十一歳……（イ）八。（ロ）四。（ハ）七。（ニ）五。

十二歳……（イ）八。（ロ）四。（ハ）六。（ニ）六。

十三歳……（イ）七。（ロ）四。（ハ）五。（ニ）七。

十四歳……（イ）七。（ロ）四。（ハ）五。（ニ）八。

六歳以前ハ幼稚園の方でまづ遊び半分ゆゑ論外で、右の表によれバ一年毎に睡眠と遊戯の時間が少なくなり、修身學業が一年毎に多くなるので、先以て至當な定め方です。よしや此規則其儘で無いにしろ此規則に背かぬやうすれバ子のためわるい事も有りません。　母親の方の御注意なるべき箇條です。

女子の政談　　六かしや

六かしや何うの又口小言の種拾はんとて足の向く儘に九尺二間の柴廬を立ち出で、料らず知己なる某君の許に至りまづ時候の寒暖から御定まりの五分沙汰盡しを申し申され、さて四方山の話しとなつさげな。　然る處、いやサ光る處相手の主人は年も古けられぬが飛んだ國水とかいふ物で命を棄ぐといふ仙人もゑ兎角六うのしやと議論が鉢合せばかり致して名倉か水谷の御厄介目前に立ち現れる。　此人の處には一人の令娘が有る、令娘芳紀十九歳、主人は行年(オツト)年齢二十八歳、されば言ふまでも無く令娘は主人の子で無く、主人は令娘の親で無く、江戸は火事早いから引括ッて申さば此令娘即ち御主人の妹であッる。　國許から此處に居て監督と兄上から受ける事は其印紙張つた受取証てそ無けれ確であッて、處が令娘近頃オツリキに學問が出來て來られ、御議論も御上手に爲られて時々は兄さまとも口から津唾を飛ばし合ッたさうな。　六かしやを見て兄上は一大嘆息、六かしやも人並に同感心も有れば其故を問ふに兄上は唯々妹御の心意氣…ト申しても都々一ではムらぬ……を心配なされる。　なれも大人しく、メスメリズムに掛ける日中の耳木兎見たやうにダンマリムツツリして居るが猪生意氣の虫が暴れて來るとどうも人の言を聞かんで困る、イヤナニ政治に喙を容れ政談を聞きたい杯と言ひ出しまするとの長大息。　御心配の種は其處でムるかと問へば烏賊にも鮹にも海鮑にもどの答へでなつた。　六かしや意外千萬御尋常な胸に混ぜ上げた。　政治に喙……どんな喙か鷲のやうか又烏のやうか存せねど女子とても耳もあり心もある。　政治などに奔走すると夏牡丹で下さらぬが政談を聞くぐらゐの耳は有ッてもイヤサ與へてもよさゝうに存ずるテヤ。　彼は動物なり、境遇の許す處に從ッて進化する物でムらう。　全く以て女子をして政談聽聞禁制ならしめんにはまづ〳〵政といふ字の意味を知らせぬが宜しからうと存ずるて。　六かしや決して奇論は言はぬが、そも〳〵男子の聞く者と女子に許さぬといふ――そも特別の原因なるなら知らず――のは一体全体無情極まる至りでムらう。　くだらぬ政談などして奔走するのは元より是水無しの庭でイケ無いに違ひムらんダ、之を聞くさへ苦々しく思ふと言ふは一向合点がまゐりかねる。　ハテサテ可愛や小供を育てるお方つて、「阿母さん、政治ッてなに」と問はれて日本女性は之に答へ得し……

催眠術の話　は　の

催眠術即ちメスメリズムは諸孃も知る通り昔から一種の魔術と言ふもの、吾思ふま丶に人を眠らせ、勝手な眞似を爲せる抔は頗る奇々怪々な法です。近來に至り泰西でも之に關する議論百出し、之を醫術上の手助けに爲る處まで論じ及ぼしました。メスメリズムと言ふ名義はあまり適當せぬと云ふ處から近頃はヒプノチズムと呼び更へる人が多くなりました。さて之を行つて人により感ずる度も違ひますが要するに多くは多少の感應力も人間は持つものです。どうして感ずるかと説き明らすには先づ腦髓の事から言ふのが順序です。

人間の腦髓は全身の神經の集合点で、元より單純の物で無く、實に複雜した機關で、健全な身体に於ては各一致契合して一つの働きを取ります。唯其處がもと〳〵各個の集合政府である故に各分子の各機關が腦其物と共に働くと同時にわが力に任せる働らきをも爲るものです。それで簡略に言へば、腦は之を別て二つにする事が出來ます、即ち智識に屬する方と自動に屬する方との。前のは前腦即ち額の方に居處を占めて精神の主宰を行ひ、所謂人間それ〴〵一已（コンシアス　イーゴー）を象るのです。後のは即ちアウトマチック　センターで其名の通り自動するもの、即ち心の命令以外の情感動作等を主ります。つまりは前のは隨意運動、又後のは不隨意運動を司るのです。例を擧げれば讀む事、書く事、馬へ騎る事など即ち不隨意の方で、一旦之が味を知れば知らず〳〵整理を得て行へる所業です。また心臟では常に古い靜脉血を洗つて新らしい動脉血とし、それを絶えず全身に送り出して居る此働らきは神經からの命を受けて行ふものゝしかし吾々が命令の外の事で、吾々はさうしろと命令したものでも無い、是も即ち不隨意の運動です。其他胃の消化作用、肺の呼吸作用等いづれも同じ理屈です。

さて右隨意不隨意兩神經が吾々の身体にある事を知つた處で催眠術の子細もわかります。こゝに恐ろしく寐惚けた人が有り、中宵目は覺めて物は見るが其感應は全く晝間とは反對で、寐惚けて色々な眞似をし、やがて翌朝正氣になつて昨夜の事を些しも知らずにある類、是は世に其例大分有ります。催眠術はざつと此作用で、即ち人造で此作用を他人に行ひ、丁度其行はれた人として夢を見るのと同じやうな心持ちにさせるのです。施術法などに至つてはあまりの神秘に屬しますから言ひますまいが、理はまず右のやうなものです。

飯の腐敗する原因及び其防ぎ方

阿三が今朝炊いた斗の御飯を夕方旦那が召し上る時にもう腐らせ、大小言を頂戴するのは何れの家にも有る事で、ソレ御覧な御前の手置きがわるいからと言はれるのは度々の事です。取扱ひ、實に御飯の腐るも腐らぬも全く此取扱次第です。

御飯が腐る原因は第一、磨ぎのわるい事、第二、流しの足りぬ事、第三、御鉢のわるい事、第四、うつし方のわるい事、第五、御鉢の置き處のわるい事、まづ此五ヶ條に基づきます

第一の磨ぎ及び第二の流しは米について居る糠を去るための法で、之がわるいければ言ふ迄も無く糠は殘つて落ちずに米について居ます。糠は米より腐敗が早いもので、即ち之を米に付けて置くのは言ふ迄も無く、米の腐敗を招く原因です。それ故に此磨ぎ方、及び流し方に注意するが第一の眼目で、また磨ぎと流しとがよければ炊いてから食る時の味が違ひます。　處が下女などは兎角骨を吝むもので、つひ一寸磨いて一寸流す、それが得て大損をして人にも迷惑を掛ける元になります。　細君方がもつども心を付けられるべき處です。

但し米も手で磨ぐに上越す方は有りません。　器械で磨ぐのもありますが或は米を砕いたり、或は満足に磨げなかつたりして極めていけません。　大處では面倒がつて手で磨ぎませんがそれで空しく腐らせたり、まづく食べたりして甚だ馬鹿らしい事です。

第三　御鉢、これが新らしいのは極めていけません。　御鉢の木はサハラとて檜のやうな木、それ故樹に脂が澤山有りますから新らしい御鉢は米を脂臭くするのみか、猶之が腐敗を速にします。　成るべくはそれ故夏向などは古くつかひ込んだ飯櫃を用ゐるが宜しく、昔の諺に冬新らしい御鉢を買へと言ふのも全く此理です。　それから又御鉢の木目、これの細か過ぎるのは見た處正目でよろしいですが飯のためには惡い方で、其故は其目が細かいため飯の蒸發氣が洩れるのが自然に自由で無く、從つて腐れが早くあります。　目のあらい方に限ります。

第四　うつし方、是が第一の眼目です。　普通に人がうつし方に注意せぬため得て朝炊いたのを早夕方には腐らせるのです。　其實一般の人が無茶苦茶にうつし取るのがわるいのです。　最もいゝ移し方は釜肌の處と中程の處とを區別して移し、釜肌の方からさきへ食べる、是です。　釜肌に接した

方はどうしても水分が多く隨つて腐敗はすみやかです。之をさきへ食べる時には味も目に立たぬ而も水分の少ないのが唯殘りますから自然腐敗は遲いです。此法によれば保証して三十時間は保ちます。下女などに充分心得させれば衞生上はなはだ適當な結果を得ます。人により飯の腐敗を防ぐた先に飯に酢などをふりかけますが是では味が損じて而もあまり胃のためにも爲りません。

次に淨鉢の置き處、是も言ふ迄も無く肝要です。暑いところへ置けば早く腐るのは當然の事。つねに涼しい處を見立てゝ取扱を要すべき事です。

以上五ヶ條の心得と守つて居れば決してまづい物を食べずに濟ます。

惡人と善人

完善の人には完惡の心なく、完惡の人には完善の味を知らぬものか？　思ふに善惡は常に其種を心の畠に播いてあはれ誘發の雨露を待つ。たゞ善は美德、惡は醜德。それゆゑに善人が惡人の心持ちを知る程惡人は善人の心持ちを知らぬ譯で、思へば善は力めて取るべきものです。

化粧必用香醋製法

香醋と一口に言へば香氣のいゝ醋で化粧にはもつとも必要な品です。一日幾回と回數と定め、此香醋を以て身体を拭ふと皮膚の蒸發を盛にし尤も肌をうるはしくします香醋と言つても之れに十種類が有ります。中で製法の簡略なのを二三種あげればまづ下々です。但し香醋に用ゐる醋は西洋製が宜しくそれで第八号といふのが適當です。止むを得なければ日本の上酢でも仕方ありません。

第一　タラゴン香醋。タラゴン香醋一名エストラゴンと製するにはタラゴン一ポンド（タラゴンは日本の「カハラヨモギ」の類で專門名義アルテメシア　ドラカンキユラス、藥草です）に醋一ガロンを交せ、蒸餾して用ゐるのです。用ゐ方は銅盥に之を二三滴たらし、其に水を和し手拭にひたして身体を拭ふのです。

第二　コロン香醋。ハンドコロン一クワートに醋一オンスを交せたもの。

第三　芙蓉香醋。是は香醋中第一の品です。即ち醋酸八オンス、ラヘンダ油二ドラクマ、迷迭香油一ドラクマ、丁子油一ドラクマ、龍腦油一オンス、この混和物。

懸賞文藝得點合算表

人名	第廿回前得点合算	第廿一回得点等級	第廿二回得点等級	第廿三回得点等級	第廿四回得点等級	第廿五回得点等級	結果
横山ひろ	十	1	4	2	2		二個十八分之三
三坂きぬ		1			2	3	一個二分ノ一
山崎ひで	一	1			3		一個九分ノ二
藤元あさ	一	3	2		2	3	一個十八分之一
賤女	一	2	2	2			十八分ノ十九
永嶋芳子	十五	4					九分之八
本吉ミは		4	3	2	3		十八分之十三
菊野花子	十二						十八分之十三
小向きミ子	十三						十八分之十三
撫箏女史		3	3	3			二分之一
南山女史			3			3	三分之一
橘さち子					2		三分之一
美見仲子	六						三分之一
水野秀	一	4	3				十八分之五
菊れや露子	二			3			十八分之五
山崎よつ	四						九分之二
石川れぶ子	四						九分之二
中村はな					3		六分之一
小田よし					3		六分之一
不知火女史					3		六分之一
旭馨女史		3					六分之一
旅嬌						3	六分之一
目時きぬ		3					六分之一
松枝巻江	三						六分之一
戀山女史	一	4					九分之一
香圃女史		4					十八分之一
清川八重子		4					十八分之一
神崎ゑい		4					十八分之一
高木寅子	一						十八分之一
松尾ひさ	一						十八分之一
中山まき	一						十八分之一

人名	第廿回前得点合算	第廿一回得点等級	第廿二回得点等級	第廿三回得点等級	第廿四回得点等級	第廿五回得点等級	結果
鹿叉松苗	四	2			3	2	一個十八分ノ一
有本入光	十二	2					一個
本吉直三	十五						六分之五
竹下山人	十	3		4			九分之七
根本重藏	十二						三分之二
柳巷			3	3		3	二分之一
仁科書子		2				3	二分之一
菊野清				2	3		二分之一
杉柴芳江	十						九分之五
奥野保橘	一	3		4		3	九分之四
後樂散士				4	4	2	九分之四
碧溪閑史	二			2			九分之四
葦野潤三郎	一			2			十八分之七
山本鸞醒	一					2	十八分之七
郷廼家楓		2					三分之一
鐸州漁夫		2					三分之一
春眠散史				2			三分之一
黒江直二	六						三分之一
狂太郎		4			3	4	十八分之五
福富翠亭	四	4					十八分之五
松の舍					4	3	九分之二
櫻陰子	一					3	九分之二
越の舍		3					六分之一
雪の園主人	三						六分之一
山本楓里		3					六分之一
菊野幽芳		3					六分之一
紅顔子		3					六分之一
飛編子			4	4	4		六分之一
菊水	二	4					六分之一
磯の家						3	六分之一
滑翠	一	4					九分之一
香廼舍		4					十八分之一
紅山				4			十八分之一
朧月子	一						十八分之一
清水隆	一						十八分之一

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

西洋菓子製造法（二）

うめ子

第四　婚禮菓子（Wedding Cake）

この菓子と製へるには麪粉三「ポンド」、バタ三「ポンド」、砂糖三「ポンド」、玉子二十四個、干葡萄三「ポンド」、覆盆子六「ポンド」、佛手柑一「ポンド」、豆蔲花一「オンス」、肉桂一「オンス」、肉豆蔲一「オンス」、丁子半「オンス」、ブランデー半「ピント」以上十二種の品の人用です。　製へ方は最初バタを泡起つ位に手で掻き廻してそれに砂糖を混せ玉子の蛋黄を入れて能く混つた處で更に蛋白を加へそれから果物其他粉などを混せながら入れるのです。　それで出來上つたのを五六時間燒けば大きな塊が出來ます。

第五　方格餅（Waffles）

二「オンス」のバタを溶そことの出來るだけに一「クワート」の牛乳を暖めて、それから冷めた時五つの玉子の蛋黄だけ其中へ入れ、濃いバタ位になるだけの粉と混せて、それに普い加減に鹽で味を附けて少し硬くなつて乾くまで熱した玉子の蛋白を入れて半時間ほど極々徐かに掻きませて鐵板の上で燒くのです。　これが一番長い法であつて且つ暫時の間に出來ます。

第六　乾麪麭（Dride Rusks.）

前の日に燒いた甘ビスキツトの上下の皮の間を半分に極能く切れる小刀で截つて直ぐ錫鍋の上へ載せて竈へ火を燃き附けると漸々乾いて來ます。　鳶色になればそれで宜しいのです。　この菓子は大概な病人は好れます。

第七　饅頭（Common Buns.）

バタ四「オンス」を麪粉二「ポンド」、少しの鹽、四「オンス」の砂糖、菓子匙一杯ばかりのカラウエー、茶匙一杯ばかりの生姜の粉れ混せ物の中へ入れ。　適宜の分量だけあたゝめた牛乳と大匙一杯の麴の混せ物を混せ合せて糊で餘り硬すぎぬやうに固めて膨れるやうに火の上に載せて一時間も置いて、饅頭の形に製へてそれを錫鍋の上に載せて十五分間も經つてからフランテルを被せて餘程熱い牛乳と塗り附けて更に竈に入れて燒くのです。

此頃のコレラ患者と見ても矢張り其誘發は食物と神經作用が多いやうです。　くれぐれも心を丈夫に持つのと、惡性な物を食べぬのが注意の第一です。　精神堅忍寢食平和の堅甲に身を防げば恐ろしい處は些しも有りません。

通信紹介規則

（一）通信物品紹介文掲載を望む者は原稿と共に掲載料及保証料を送る事（二）掲載文に對し約定を望む人ハ其代金及保証料を送る事但し此保証料は相手の掲載又の保証料と同額の事（三）掲載料ハ五号活字廿七字詰一行金五錢宛保証料ハ一行五錢宛（四）雜誌發兌の十日前に受取つた申込ハ其号、十日後のは次号に載せる事（五）紹介文申込後其取消請求が有ても領收金員は返さぬ事（六）紹介文掲載後約定望人が既に出來、そして掲載申込人が取消請求した時にハ双方の保証料を悉く最近のいらつめに換へて約定望人に返す事（七）約定望人が一時に二名以上有る時は約定申込書の郵便の消印の時刻で前後を定める事（八）既に一名の約定人が出來た時は第二の約定人には別段返事を出さず其代り第二約定人の保証料を最近のいらづめに換へ、其他の代金は三十錢以下一割増の切手又三十錢以上は爲替で返濟する事、但し返送料は其内から差引く事（九）約定望人が有れば本社は直に郵便で掲載申込人に其趣を知らせるに付き通知得次第掲載申込人は其品物を運賃自辨で本社へ送るべき事、本社では品物と引換に、代金を三十錢以下一割増の切手三十錢以上爲替掲載申込人に支拂ひ、直に其品物を通運便先拂で約定望人に送る事、是等の場合に於て保險を望む人は豫め其由を言込む事、但し保險料も自辨の事（十）約定出來の上は約定双方の人に各保証料を最近のいらつめに換へて返す事（十一）此約定は最も双方の誠實を尙ぶ事ゆゑ其間に双方共虛僞を挾んでは爲らぬ事、品物其他に本社では紹介するばかり其品に就ての責には一切任ぜぬ事、物品差立の荷造は成丈丁寧にして封印を打て置くべき事、本社では決して之を開封せぬ事（十二）其實物に接せぬ獨り誠實から成立つ約定ゆゑ申込人も其品物の体裁を眞實に記すべき事（十三）掲載の文には本人姓名を秘す事、但し本人から姓名宿所も掲載の命が有れば例外（十四）以上規則に因つて取扱ふ物品は普通の小さな物に限る（十五）以上諸條の犯則は悉皆沒書の事〇（一）奉公口の紹介周旋に對し紹介約定申込が有れば本社から其趣を本人に通知する事但し是は物品と違ひ其後の事に本社で干渉せず都て双方の勝手に任せる事〇番号の欠けて居るのは最早約定濟になつたのを〇紹介掲載は三回が一區切

● 賣拂

（二四）セレクトポエムスチンバールヅ、諸大家の作を集めたもの、廿八頁、五錢……東京本郷

（二五）リツトン作小説デベロー、百五十七頁、表紙少し損、賣價金十五錢……仝　人

（二六）ウオーターースコット作小説、タリスマン、百七十頁、賣價金二十錢……仝　人

〇買入

（二七）朝野新聞第一号から論文の切拔……佐　渡

〇雇入

（二八）年齡十二三歳以上の女子にして學資不十分の爲に志を得ざる者學婢として雇入たし……東京神田

新刊雜誌

黄薇餘芳　岡山縣岡山薇妙文社から出る和漢文學の雜誌でまづ諸生れ朋友ふある温雅な雜誌です。毎月二回發兌

東洋奇術新報　大坂東區東洋社からの發兌、毎月一回の雜誌です。　近頃各所から諸秘法を集めた物が出版になりますが何れも杜撰剽竊を旨とした物ばかりで、信を置ける者の殆んど無い處、まづ夫等に比べれバ此雜誌などもいくらか立ちまさつて居ます。が、化粧に關した事、其第一号に載せてある内の十の九はいづれも吾いらつめから取つたものでもこしの相違も有りません。　唯それなら宜しいです。ソバカスと去る最良法などとあるのは全く板權所有後のいらつめから取つたもので、吾々も頗る不快な感を抱きました。　板權を侵す事の背法である由も既に條例にもあります。かのソバカスを去る法れ如きは決して普通の雜書などにある法では無く、全く吾々の第廿九号頃から取つた物です。それとは知るもの〻爰に同業れ好みを以て吾々も必ずしも之に對して法律ふ問ふ問はぬの事をしません。只今後ふたゝび斯樣な事の無いのを望みます。　板權の有無と知るか知らぬか全くいらつめから拔萃して平氣で居る各新聞雜誌も近頃頗る多い樣子、今迄も默つて居ましたが、今後も決して容赦しません。板權の有無に拘らず、世に普通の法とか、又は世間にある書物などにある法ならバ取られても默つて居ます。　いらつめにはいらつめ一己で新に創成したもれも有るに、　おめ〳〵盗まれてはたまりません。　事れ序に一寸一言。

通信問答

やつれを——文學に御篤志れ段敬服しました。　御尋ねに詳よ答へるには一朝一夕の事でも有りません。故にこゝハ極略して言ひます。㈠美妙齋氏が始めて社會に向つて言文一致体を唱へたのは明治廿一年の二月で學海の指針に言文一致略論と云ふを出しました。又氏が此文体を唱へやうと思ひ付いたのも大抵夫から以前二年ばかり即ち明治十九年の末頃からです其刺激の原は其頃までにも俗談と違ふ文ぞのりが多かつた事です。㈡無論美妙齋派れ人も言文一致を應答文にも用ゐる所存です。思ひなたりへ進らせる文もむしろ意味よりも儀式が勝つもの、今日大抵言文一致である西洋でも此等れ古体と用ゐます故に公文もどうしても宜しいです強ち言文一致にしやうと望ゑません。言文一致派れ普通文を出來るだけ言文一致にさせるのと望ゑ升。普通以外の文は構ひません㈢言文一致趣意は出來るだけ文と言に近づけ、其間に成る可く逕庭を留か

ぬ事を圖ります。併し言にて亂雜な所が多い、夫を文の思想を以て成るべく〳〵と正しく行くのが任です。但し廢語死語を用ゐぬを宗とし、いはれも無く古言を用ゐるのを禁じ、又いはれも無く俗言を捨てるを禁ずるのです。是はホンの概略です(四)言文一致派では無理に女用文と男用文との間に相違と置くのを圖りません●以上近頃御殊勝な御篤志ゆゑ概略ながら御答へしました。美妙齋主人は一昨年以來から言文一致全論といふ書籍の著述にかゝつて居て其成効は猶數年を要しますが、折角其完成の上は御覽下さい。猶言文一致体の摸範として美妙齋主人の説を代表するものはいちご姫の終りの方です。御志しの有るなら其句法迄熟讀の上御質問下さい。

きみ子――(一)直接に本社發行人迄郵券二錢添へて御申込にあればハンドコロン特買切符と送つて上げます(二)ハンドコロンの利目は人に因り違ひますが大抵成効二週間以上三週間以下です之を用ゐるに就ての心得は色々有ります(三)日本授産館の白色法は有効の無効の、御面談で申すなら格別、こゝには公言出來ません。何にしろいらつめにハンドコロンの法を載せた後同館ではそれと同じやうな藥を敎へるやうな廣告をしました(四)毛生藥は種々有ります。人により効の有るのと無いのと有ります。大概に適して利くのはよくいらつめに出した枳殻の丸燒と興蘸ノ灰とを交せ合せて塗る法です(五)硼砂と硼酸とは違ひます。他の藥との配合上硼砂を用ゐたり、硼酸を用ゐたりします。効能ハ大抵同一です(五)毛を黑くするとは赤毛を黑くする事ですか、夫とも白髮ですか(六)ニキビにハンドコロンが宜しいです。齋陀僧(藥名)を人乳又は牛乳で解いてつけるのも宜しいです(七)アセモには天爪粉が(フチンゴ)が宜しいです(八)ワキガには白緑青を解いて患所に塗るが宜しいです(九)美音になる藥はいくらも有りますが其實聲の性質と見た上でなければまづ宛がひ藥です(十)毛を柔かにするには前のいらつめに其法が二三有りましたポメータムデバイン抔即ちそれです●女子に化粧は當然の事粧と包む心配も無くて宜しいです

かつら――西洋紙に石油が付いたら炭火の上に其西洋紙と遠火にして炙るのです石油は忽ち脱けます(二)三昧ハ佛語、儒家の情一、道家の貞一と同じ事ですべて奥義の無究を言ひます(三)獺の魚を祭るとは禮記月令の部にある所から出た語です(四)胡椒ハ食物ヲ伴ハせると胃のため宜しいです

増野房人――(一)コレラ液の代用にはカンプル丁幾の大妙藥です是は醫家が皆コレラ特効藥と認めます(二)無論コレラ液を服用しても醫師を呼ばなければなりません

はつ子――(一)ヴアイオリンを稽古したからとて強ち背骨が曲つて猫背になるとは限りません。注意さへして身を正しく伸ばす風習であれば何の事も有りません(二)淑女に對して握手の禮とする時英國男子は多く左の手を出し、他國男子は多く右の手を出します(三)インキ色即ち藍鼠色に名刺の字を刷る事は外國の粹ハ中々間々見ますが日本字では全く不必要です。

ラッス――身体の肥るのは多くは遺傳です。健全で肥るのならば其儘にして置くが宜しく、病が有りながら肥るのは然るべき醫者に見て貰ふが宜しいです。

嘉那子――御招待と御受けに爲つた午後茶會(アフタヌーンティ)に近頃歐米の流行です。之に臨席して茶に臨み、手袋を取るにも及びません。但しバタ付きケーク、又はパン抔が有れば例外です。

江木久子――佐々木信綱及山田美妙二氏が行つた高尾山は八王子から二里西へよつた山です。美食はすこしも有りません。東京からなら朝六時五十分に新宿の汽車に乘り八時に八王子に着き直に其日夕方充分に歸れます。

たより――意味と御尋ねの狂句二三首御了解の無いも尤もです。其意味は大に下等ですから敢てこゝにそれを説きません。只文學に熟心との事ゆゑ手紙でならば御敎へ申します。

藤元あさ――ホーマー、ミルトンなどの詩を譯した良い書物はありません。

飛鳥てふ――飼犬に生じた蚤を犬に無害で絶やすには先づ犬は全身を水びたしにして毛の附いた狼の皮で包むのです。右の法を行へば犬に居た蚤は殘らず狼の皮へ移るものです。(二)本社懸賞文藝新題の殘夢といふ課題の意味は「ねざめ」といふ事です。(三)いらつめ廿七號に出て居た小説文章其他の添削規則は只今でも實行して居ます。(四)文學上に用ゐる言葉で「結語」といふのは音調を以て用ゐる語を言ふのでその至當な語ではありません。

美術女史――いらつめ廿四号通信問答の中にある世界第一身体の色を白くする法の藥を用ひても日にやけることは防げません。日にやけるのを防ぐには別に梅の雪といふ藥をお用ひなさい。(二)目の凹んだのはどうしても出目にすることは出來ません。

松節女史――不斷から記憶力が乏しいとの事でそれを治す法と御尋ねでしたが記憶力を練れば自然に治るものです。ですから無暗に暗記するのが宜しいです。(三)夜更まで讀書して居れば何うしても翌日は疲れますそれと疲れぬ樣にする法は知りません。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

懸賞小説領収目次

(題)	(受取月日)	(所在地)	(姓氏頭字)
庭紅葉	七月廿九日	東京	石
匪蟬	七月卅一日	和泉	木
無題	八月四日	和泉	中
閑居の月	仝	横濱	月
八重葎	八月五日	東京	富
雨中の海棠	八月十一日	膽振	三
しらぎく	八月十三日	岩代	鹿
無題	仝	三河	川
葉裏の蟲	仝	常陸	菊
無題	仝	肥後	大
無題	仝	越前	佐
野邊の草	仝	日向	長
隅田川	仝	大坂	千
其一聲	仝	東京	山
萩の一枝	仝	相模	杉
薄露	仝	尾張	藤
礒山風	仝	紀伊	渡
籬の朝顔	仝	大坂	横
おきく	八月十四日	伊勢	木
無題	仝	信濃	小
闇夜の烏	仝	播摩	和
無題	仝	美濃	都
ならし	八月十五日	伊豫	金
無題	八月十六日	京都	藤
後れ菊	仝	磐城	大
空吹く風	仝	大坂	山
無題	仝	越後	若
秋閨思	八月十七日	筑後	白

○懸賞文藝新題

○第廿七回題(何でもよし)　右　源氏を讀む　八月廿日〆切

○第廿八回題(何でもよし)　右　意中の人の品定め　九月十日〆切

○第廿九回題(何でもよし)　右　子の生れた時の親心　九月廿日〆切

○第三十回題(唱歌文章に限る)　右　殘夢　十月十日〆切

○第卅一回題(唱歌文章に限る)　右　猫　十月廿日〆切

○第卅二回題(何でもよし)　右　新婚旅行の人に贈る　十一月十日〆切

○第卅三回題(唱歌文章に限る)　右　小春日和　十一月廿日〆切

○第卅四回題(何でもよし)　右　蔦蔭の獼猴　十二月十日〆切

○第卅五回題(何でもよし)　右　春衣裁縫　十二月廿日〆切

右第廿八回題は男女に限らず或は夫、或は妻、いづれにしろわが望む理想の佳人君子は品を見と言ふのでも、

この頃は應募者には應募規則に背く者が有りますが是から其作の巧拙に關せず犯則は容赦なく審査外にします。

●右文藝應募者心得

第一　題を種にして成るべく趣向を立てるのを貴ぶ事○第二　唱歌淨瑠璃及び文章は各一千五百字以内の事○第三一人で二種類の作を投せられた人は一種類各別々の紙に書く事○第四　原稿には宿所姓名明記の事○第五原稿は半紙に限る事(第六　第二第三第四及び第五に背くものは沒書。

賞品は菊水模様の金又は銀杯

右賞品は一等賞の者、二等三度の者、三等六度の者、四等の八度の者及び是と同じ資格に相當する者に限り進呈します。

●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○

當いらつめは已むを得ぬ仔細があつて據所なく**無表紙**

●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

明治廿三年

東京遊學案内

八月十五日發兌
定價金參拾錢
全國無遞送料
爲替拂渡本郷郵便局
郵劵代用謝絕

本書は東京遊學の地方少年少女の上京前後の注意と與へむが爲め毎年一回其心得の要領を編輯せしものにして、嚮を繙けば今日の地方少年少女の將來に於て遭際をべき境遇、又其境遇に臨んで如何に其身を處すべきか、前途の目的は如何、學問の方法は如何、文學理學、教育衛生、一々其利害を指摘して最も剴切痛快に記述し、章を趁ふ節を重ねて學科の撰定、修業の年限、學費の概算、上京の準備都下の狀況、宿所の考察、學校の採擇、入學の手續等を詳細にし殊に**女子遊學**の心得を痛論し、最後に帝國大學以下、高等中學校、高等商業學校、東京工業學校、士官學校、幼年學校等諸官立學校、各特別認可學校、都下**女學校**等四十餘校の規則要領、各有名の英語學校、私塾、學科課程、官立學校の入學試驗問題等を洩れなく纂輯したる有益の珍書あり請ふ地方の少年少女諸君は此書に依て將來の目的方向を確定し、以て東京遊學の素志を達せられむことを、

發行所　東京府下北豐島郡上駒込村十九番地　**少年園**

定期刊行

風月集

毎月十五日〆切　廿五日發行

上等泊紙摺美冊見本一部郵劵五錢

本誌は和詩俳諧を掲載して普く正風の俳道を擴張しつゝ、傍ら全國諸風士たちの親睦を媒し或い毎集句合角力の課題を出して風流社會の吟鋒と鬪して腕くらべを試むれば發句共進會とも謂つべし嗚呼眞に風月集で名に背かざる一雜誌なりとの自書自賛否保險附の大評判ありそもこれを播くや永き日の睡りいつしか長夜の欠びと共に消へ失せて樂しみは俳諧倶樂部に遊ぶが如く快きに風雅公園に運動するか如きの思ひあらしむ江湖の雅哲よ一覽の勞を厭はず其妙味を試みたまへかし

發行所　山口縣周防國玖珂郡柳井津本町　**風月館**

農民

第　號ヲ刊行　月十五日

本誌ハ汎ク農事ノ智識ヲ交換シ我邦ノ農業改良進歩ヲ謀ルカ爲メ**農學士**ヲ聘シ**主筆**ト爲シ毎月一回發兌毎號共農學士全國老農諸士ノ論說、講義、內外新說、通信報告、實驗改良法質問應答、農話會筆記、雜錄等農事ニ關係スル一切ノ事項ヲ以テ掲載種目トス

本誌代價　壹冊郵稅共五錢六冊金貳拾八錢十二冊金五拾四錢但會員ハ一割引●本誌ハ渾テ前金ニアラサレハ送付セス●爲替振込熱田郵便局●郵劵代用五厘切手ニ割增限ル

●會員募集ス　有志者ハ至急申込アレ郵劵貳錢送ラハ規則ヲ送ル●本會ハ無會費ニシテ證票ヲ付與ス

發行所　愛知縣愛知郡島野村　**農事改良會**

私立

明治女學校生徒募集並移轉廣告

女塾の通弊を憂ひ、此度家族主義、一名、別舍主義と稱する、新なる塾舍の管理法を工夫し、校內に小舍を別々に設置し、一舍に十八以下の塾生を容れ、主婦一名を添え、料理家政の事を實際に行はしむ、即ち塾舍を一家族の如くにするの主意也。之が爲に、本校從來の地手狹になり、且別に本校の都合あるを以て、此度下六番町六番地に移轉し、講堂及塾舍を新築す。但し始業は例年の如く九月十日。學年始に付、最下級以上の各級に新入生を募る、有志の人は九月八日迄に申込あれ。校則入用の向は郵劵二錢封入申込なれ。

東京市麹町區下六番町六番地　**明治女學校**

東京

女學雜誌社移轉廣告

弊社此度都合有之、麹町區下六番町六番地に移轉す。即ち明治女學校門前同番地內也

女學雜誌社

遞信省認可

此廣告文切抜御持參の御方ェ限り一割引

第三回内國勸業博覽會審査官●農林學校教授 農學士 古在由直先生肥料無害證明

一壜十五日分代拾二錢
ーダース割引申候

臭氣止おコきキな

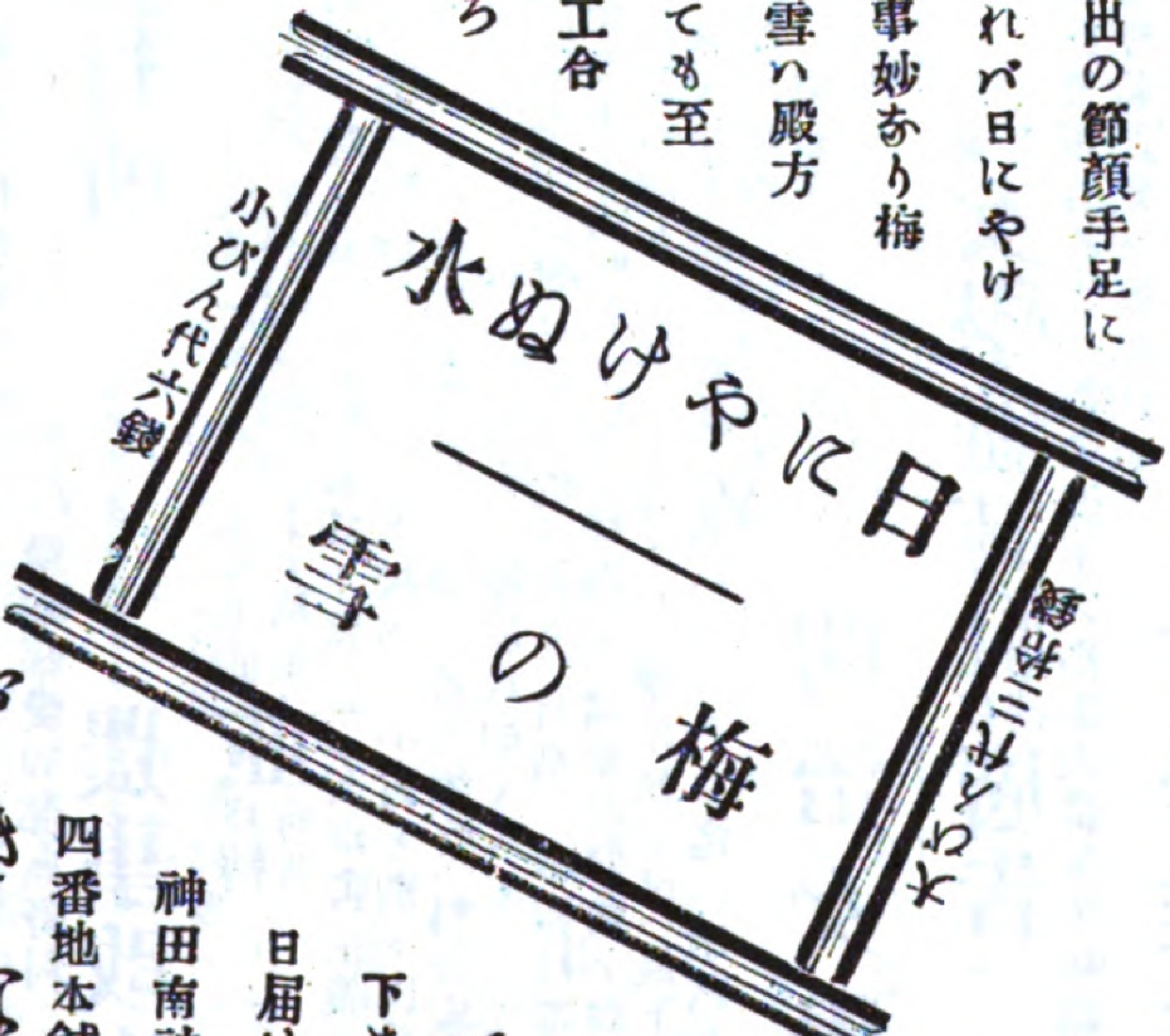
醫科大學教授 醫學博士 緒方正規先生下水實驗證明

此藥は使用に極手輕く大小便所芥溜下水に撒布する時は全く無臭となり他の臭氣なく夫が證據ハ博覽會場内各劇場等便處に實地試驗廣告仕候

臭氣止一切受負も可仕候又一壜にても配達申上候

御用の御方ハ御最寄の藥店にて御購求被下度候

外出の節顔手足に塗れバ日にやけぬ事妙あり梅れ雪ハ殿方にても至極工合よろし



府内は端書ェて御申越下されバ即日届けますよ

神田南神保町四番地本舗　おきなや

府下取次

下谷池端守田○京橋出雲町福原○京橋銀座一丁目佐々木○京橋上槇町安川○牛込築土尾澤○麹町四丁目小西○四谷御門外灰吹屋○本郷眞砂町尾澤蒼生堂○芝西久保町博仁舍○牛込神樂坂上尾澤○神田小川町笠井○京橋佐柄木町上田○両國吉川町古矢○下谷西黑門町理生堂○麹町三番町雨宮○神田小柳町森島○全淡路町風雲堂○全町眞壁○赤坂田町二丁目増田商店

地方取次

大坂南久太郎町旭屋商店○大坂淡路町日野商會○遠州濱松連尺木村○兵庫港町庚屋中川商店○岩代若松七日町一木鈴本商店○備中倉敷林源十郎